

鳥取県立夜間中学基本的構想【コンセプト】(案)に係るパブリックコメントの実施結果等について

令和4年9月20日

小 中 学 校 課

鳥取県立夜間中学がどのような学校を目指しているかを周知するため、鳥取県立夜間中学基本的構想【コンセプト】(案)に対するパブリックコメントを実施しましたので、その結果を報告します。

また、結果をふまえ別添のとおりコンセプトを策定するとともに、これを一般に広く周知し、校名募集を開始することについて報告します。

1 鳥取県立夜間中学基本的構想【コンセプト】(案)に係るパブリックコメントの実施結果について

(1) パブリックコメントについて

ア 募集期間 7月22日(金)～8月19日(金)

イ 周知方法 ・小中学校課及び県民参画協働課のホームページで公開
 ・県立図書館、県民参画協働課及び県の各総合事務所及び各市町村の窓口チラシを配架
 ・新聞広告を掲載

ウ 意見数 26件(19名)

エ 主な意見と対応方針

意見概要	対応方針
【目指す学校の姿】 「情熱・熱意を実現する」というような力強さもあってもよいのではないか。	夜間中学は、学びたいという強い気持ちのある者であれば誰でも、何歳になっても入学できることが文部科学省により示されている。 今回のコンセプトは、それを前提としたうえで、本県らしさを表現したものとしている。 今後、コンセプトを基に作成する学校教育目標、目指す生徒像等の参考とする。
【「社会の中で生きる」よろこび】 集団で過ごすのが苦手な方もいると思うので、そういった方にも居場所のある環境であってほしい。	夜間中学では、世代や国籍、これまでの経験の違いなどの多様さを大切にしながら、すべての生徒の居場所づくりに努めていく。
【その他】 ・鳥取県らしいコンセプトになっている。 ・県民に知ってもらうことが大切。	10月にシンポジウム及び個別相談会を予定している。その後は、体験授業や学校説明会も計画しており、併せて個別の面談や関係機関の訪問、SNS等での情報発信を随時行っていく。

<コンセプト(案)以外への意見>

意見概要	対応方針
【決定済事項に対するご意見】 ・中・西部への分教室の設置又は通信教育の実施ができないか。 ・不登校学齢期生徒の受け入れができないか。	県立夜間中学設置後、中・西部地区においても入学のニーズが高まることが想定されることから、分教室等の設置の検討を継続するとともに、不登校の学齢生徒への支援についても、市町村教育委員会やフリースクール等の関係機関と連携し、不登校特例校等の設置も視野に入れながら更なる支援策を検討していく。
【今後決定していく事項へのご意見】 ・LD等専門員やカウンセラーなど、生徒の状況に応じた職員が配置できないか。 ・様々な体験ができる工夫を。	教職員の配置や教育課程の編成は、今後、県立夜間中学設置準備等に係る懇談会からもご意見をいただきながら検討していく。

(2) コンセプト策定について

パブリックコメントの結果、コンセプト案に対する肯定的な意見をいただくとともに、コンセプト案の修正を強く求める意見はなかったこと、またこれまでの県立夜間中学設置のあり方についてもさらに前向きな意見をいただいたことから、9月8日の定例教育委員会において意見を伺った上で、別添のとおりコンセプトを決定しました。

2 県立夜間中学の校名募集について

コンセプトを広く周知し、校名の一般公募を実施します。
募集期間（予定） 令和4年9月21日（水）～10月20日（木）

3 今後の予定

コンセプト策定に関連する主な予定は、以下のとおりです。

令和4年9月21日～10月20日	校名募集
10月2日	県立夜間中学シンポジウム開催、個別相談会開始
11月上旬	県立夜間中学設置準備等に係る懇談会（第2回） ※校名候補選定
11月中旬	定例教育委員会 ※校名決定
12月中旬～1月中旬	校歌歌詞、校章募集
12月下旬	作曲依頼者決定
令和5年2月	県立夜間中学設置準備等に係る懇談会（第3回） ※歌詞、校章候補選定
3月	定例教育委員会 ※歌詞、校章決定
9月下旬	校歌制作完了
令和6年4月	開校式典で校歌、校章披露。校名、校歌（歌詞）及び校章応募者表彰

鳥取県立夜間中学基本的構想【コンセプト】

令和4年9月20日

鳥取県教育委員会

◇ 目指す学校の姿

「いろとりどり【色鳥取】に、ともに自分らしく学ぶ」※

世代や国籍、これまでの学びの経験の違いなどを超えたさまざまな人たちの思いや考え方にふれ、ともに学び合うことをとおして、自分らしい学びを実感できる学校。

◇ 県立夜間中学3つのよこび

(1) 「学ぶ」よこび

- 生徒一人ひとりの願いや、これまでの学びの経験に合った学習計画を立てて学びます。
- 「学びたい気持ち」に先生がしっかり寄り添い、安心して質問ができ、何度でも説明してもらうことができます。
- 教科や学年の枠を超えて学び合ったり、パソコンやタブレットを使ったりして、一人ひとりの「わかった」「できた」が大切にされます。

(2) 「つながる」よこび

- ともに学び合う仲間とのつながりを大切にし、お互いの存在を認め合い、安心して生活することができます。
- 学級活動や遠足などの行事を行いながら、語り合い、力を合わせ、ともに楽しみます。
- 生徒同士、先生と生徒だけでなく、地域の方をはじめ学校外のさまざまな人とも出会い、つながり合います。

(3) 「社会の中で生きる」よこび

- 鳥取の歴史や文化などにふれる体験的な学びから、「ふるさと鳥取」に生きるよこびを実感します。
- 自分のペースに合わせたさまざまな学びを積み重ね、高校などへの入学や働くために必要な力と自信がつきます。
- 安心して学ぶことができる環境の中で、ともに成長し、卒業の先にある夢や目標に向かっていきます。

※いろとりどり【色鳥取】とは・・・

鳥取県が目指す夜間中学は、ダイバーシティ（多様性）を生かした学び合いの中で、引きこもりの方や外国籍の方などが社会（ふるさと鳥取）とつながることを後押しするなどの役割を持っています。

いろとりどり【色鳥取】とは、「ふるさと鳥取」の中で、いろんな色（国籍、性、年齢、学習歴など、さまざまな事情や背景などを含めた個性）を出しながら「のびやかに学んでいこう」、「社会（ふるさと鳥取）とつながりを持ちながら次の未来にはばたいていこう」というメッセージを込めています。